

こもろ 市議会だより

4月臨時会・6月定例会

No. **189**
令和3.8.4



風穴の保存・整備に取り組む「氷風穴の里保存会」の皆さん

暑中お見舞い
申し上げます



小諸市議会HP

主な内容

- 6月定例会の概要 …… 2～4ページ
- 一般質問 個人質問 (16名)
…………… 5～13ページ
- ぼいす・傍聴席・編集後記
…………… 14ページ

新型コロナウイルス関連補正予算等を可決

65歳以上のワクチン接種順調に進む

6月定例会の概要

期間：6月1日から6月25日まで（25日間）
 議案：令和3年度一般会計補正予算ほか全16議案
 結果：すべて可決（承認を含む）

新型コロナウイルス 関連補正予算

新型コロナウイルスワクチン接種事業について、7月末までに65歳以上の高齢者の接種を完了するための対応に係る費用、生活困窮者への生活支援、学校の保健衛生環境の維持等、新型コロナウイルス対策として必要な事業に要する費用、1億2千万円を追加する補正予算を、審議の結果全会一致で可決しました。

4月臨時会について、3ページで報告します。

問 質 疑
 答 弁

ワクチン接種促進重点医療機関協力金 5千万円

対象となる機関はどの
 ことで、金額の積算根拠
 は何か。

浅間南麓こもろ医療
 センターで、7月末ま
 で週2回の体制を増や
 していただいた関係の
 費用で、金額について
 は今後具体的に交渉し
 ていく。

新型コロナウイルス感染
 症生活困窮者自立支援金
 給付事業 436万円

給付について市民へ
 の周知をどのように行
 うか、また給付の窓口
 はどこか。

広報8月号に掲載予
 定で、対象者へも周知
 したい。今回の給付窓
 口は厚生課になる。

新型コロナウイルス対策 学校衛生環境対策事業 900万円

修学旅行のキャンセ
 ル料は、この事業の趣
 旨に合うのか。

交付金の事業項目に
 載っている。コロナウ
 イルス感染症の影響に
 より、企画変更で生じ
 る補償料が主となる。

その他の補正予算

コミュニティ助成事業補 助金 740万円

選定の基準や優先順
 位はあるのか。また公
 平性の観点はどうか。

過去5年以内に利用
 した区は対象にならな
 いため、過去の実績を
 見ながら平等になるよ
 う市で順位づけをし、
 申請してもらっている。

電源立地地域対策交付金 47万2千円（定額）

交付金の充当先はど
 こか。

公共用施設整備や住
 民福祉の向上に資する
 事業等に活用できるこ
 とから、保育士の人件
 費に充当を考えている。

公共交通事業 市内巡回 線試験運行委託料 1千600万円（新規）

不登校児童生徒に対する
 学びの継続支援事業委託
 金 72万4千円

不登校支援コーデ
 イ

スマートカートは安

ネーターを配置すると
 いうことだが、今まで
 と変わることはあるか。

教育支援センターの
 取組が、これまでから
 大きく変わるわけでは
 ないが、「不登校の子
 ども達が学校に戻る事
 だけが全てではない」
 ということを前提とし
 て、子どもの家庭を訪
 問し、寄り添っていく
 ことで学びの継続に繋
 げていけるよう取り組
 んでいく。

電源立地地域対策交付金
 47万2千円（定額）

交付金の充当先はど
 こか。

公共用施設整備や住
 民福祉の向上に資する
 事業等に活用できるこ
 とから、保育士の人件
 費に充当を考えている。

公共交通事業 市内巡回
 線試験運行委託料
 1千600万円（新規）

スマートカートは安

全面で課題はないか。
 保険はどうなっている
 か。

駐停車禁止区間は走
 らないことを原則に運
 行しているが、事故防
 止対策をしていく。保
 険については、同乗や
 運転手、対物に対応で
 きる保険に加入してお
 り、今後も継続してい
 く。



スマートカート



新保育園外観完成イメージ

条例等の審査

【総務文教委員会】

令和3年度市単事業

市新保育園建設工事請負

契約について

【問】 低入札調査を行ったということだが、この金額が妥当との判断であったか。

【答】 工事に設備工事も含まれており、調査の結果、妥当であると判断した。

【問】 入札に参加した業者は何社あったか。

【答】 8社が入札に参加し、内2社が市内業者であった。

【産業建設委員会】

小諸市空家等対策協議会

条例の一部を改正する条例

例（協議会の委員数を見直す改正）

【問】 委員の数が3名多くなり、その内1名は弁護士を増やす予定とのことだが、他にはどのような職種の委員を増やす予定か。

【答】 今回は弁護士会に1名の推薦をお願いする予定で、他2名については、今後あらゆる事案が出てくることを想定し、様々な分野から有識者に参加していただけるよう増員した。

請願書の採択について

本定例会に提出された請願「『さらなる少人数学級推進と教育予算の増額』と『義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充』を求める意見書」採

択を求める請願書について、委員会の審査では趣旨採択となりましたが、本会議において、反対討論がされ、審議の結果、採択と決しました。本意見書を内閣総理大臣ほかへ提出しました。

＜反対討論・小林一彦＞

今、学校現場では、新型コロナウイルス感染症対策や、いじめ、不登校への対応、教育格差の解消、学習習慣の定着や基礎学力の向上など、様々な課題に直面している。本年4月に始まった、

プログラミング教育や、英語教育の必修化、GIGAスクール構想は、これまで以上に一人ひとりに応じた、きめ細かな指導が必要となっている。このため、さらなる少人数学級の推進を求めることは、当然であり、採択すべき請願である。

賛否が分かれた請願の表決結果

本欄に記載以外の議案については全会一致で原案可決されました。○は採択、×は趣旨採択をあらわしています。議長は、表決に加わりません。 ※は議長

議案名	会派名・議員名 (空欄は無所属)																		
	市議会			創正会			あらい風		日共親		公明党		子ども	かけはし					
	山浦利夫	丸山正昭	小林一彦	高橋公	相原久男	田中寿光	竹内健一	中村憲次	神津眞美子	掛川剛	早川聖	土屋利江	柏木今朝男	小林重太郎	高橋充宏	田邊久夫	福島鶴子	楚山伸二	清水喜久男
『さらなる少人数学級推進と教育予算の増額』と『義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充』を求める意見書 採択を求める請願書	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	※

小中学校の改築・再編に関する特別委員会の設置

本年4月に、小諸市立小中学校の改築・再編について、小諸市学校教育審議会より、答申が出されました。その内容について議会としての考えをまとめていくため、新たに「小中学校の改築・再編に関する特別委員会」を設置しました。

委員構成は次のとおりです。

- 委員長 柏木今朝男
- 副委員長 掛川 剛
- 委員 小林 一彦
- 委員 田邊 久夫
- 委員 竹内 健一
- 委員 神津眞美子
- 委員 小林重太郎
- 委員 相原 久男

4月臨時議会

4月23日に1日の会期で臨時議会を開きました。国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」による市内の経済対策、生活支援等に係る各事業と、企業版ふるさと納税を活用した事業に伴う、3億2千万円の補正予算を、審議の結果全会一致で可決しました。

補正予算の審議

令和2年度一般会計補正予算（専決処分）

【問】 3月議会後の短期間で市税収入が4億9千610万円という高額な補正になっているのはなぜか。

【答】 歳入については穴が空かないように堅く見積って処理している。今回が最後の補正になるため、このような高

額になってしまったが、
今後は確実になった時
点で順次補正し、計上
していきたい。

**事業構想プロジェクト研
究会企画運営委託料**

935万円（新規）

問 委託内容及び委託先
についての考えはどうか。

答 事業構想大学院大学
へ委託し、農業振興や
マース事業について6
月から9月まで7回の
会議を予定している。

**生活困窮者対応緊急食糧
等備蓄事業支援金**

430万円（新規）

問 備蓄庫はどのような
物をどこに設置するの
か。

答 コンテナ式の移動可
能な簡易式のもので、
設置場所は社協と、こ
もロッジの間のスペー
ス、または社協駐車場
の一部を想定している。
大型1棟が、小さいも

の2棟で連結設置する
か検討したい。

**ＩＴエンジニア養成事業
業務委託料**

1千300万円（新規）

問 事業の概要はどのよ
うなものか。

答 都内のＩＴ企業のオ
フィス誘致に成功した
ことから、ＩＴ人材の
養成を進めていく。高
校生から子育て中の女
性など幅広い年代を対
象に5月から募集を開
始し、7月から開講予
定で、最大40名程度の
受講者を想定している。

議会だよりでは、定
例会の内容の一部を掲
載しています。詳細を
知りたい方は、ホーム
ページもしくは議会事
務局までお問い合わせ
ください。

6月定例会に上程された議案と審議結果

	議案件名	結果
条例	小諸市空家等対策協議会条例の一部を改正する条例	可決
予算	令和3年度小諸市一般会計補正予算（第3号）	可決
	令和3年度小諸市一般会計補正予算（第4号）	可決
	令和3年度小諸市一般会計補正予算（第5号）	可決
その他	繰越明許費の報告について	承認
	事故繰越しの報告について	承認
	小諸市水道事業会計予算繰越の報告について	承認
	小諸市公共下水道事業会計予算繰越の報告について	承認
	債権放棄の報告について（市営住宅使用料）	承認
	令和3年度市単事業小諸市新保育園建築工事請負契約について	可決
	和解及び損害賠償の額の決定について（水道管理瑕疵による損害）	可決
発議	市道路線の廃止について	可決
	市道路線の認定について	可決
	小中学校の改築・再編に関する特別委員会の設置について	可決
	小諸市議会会議規則の一部を改正する規則について	可決
	「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書の提出について	可決

請願・陳情の審査結果

種類	件名	氏名	結果
請願	『さらなる少人数学級推進と教育予算の増額』と『義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充』を求める意見書 採択を求める請願書	長野県教職員組合小諸単組 武重 朋子	採択

9月定例会の予定（8/26～9/28）【傍聴をお待ちしております】

月	火	水	木	金	土	日
8/23	24	25	26 9:30～ 本会議(提案説明等)	27	28	29
30	31	9/1	2	3	4	5
6 9:00～ 本会議(一般質問)	7 9:00～ 本会議(一般質問)	8 9:00～ 本会議(一般質問)	9 9:00～ 総務文教委員会・分科会	10 9:00～ 総務文教委員会・分科会	11	12
13 9:00～ 市民福祉委員会・分科会	14 9:00～ 市民福祉委員会・分科会	15 9:00～ 産業建設委員会・分科会	16 9:00～ 産業建設委員会・分科会	17	18	19
20	21	22 9:00～ 予算決算委員会	23	24	25	26
27	28 9:30～ 本会議(委員長報告等)	29	30			

傍聴される皆様へお願い
（新型コロナウイルス感染予防）

- 次のことにご配慮をお願いします。
- ・マスクの着用をお願いします。
- ・傍聴席に着く前に、備え付けのアルコール消毒液で手指消毒をお願いします。
- ・発熱などの症状がある方や、体調のすぐれない方は、傍聴をご遠慮ください。
- ※傍聴席は間隔を確保してお掛けください。
- ※状況により、日程等の変更となる場合がありますのでご了承ください。

*予定のため変更になる場合があります。詳しくは議会事務局22-1700(代)へお問い合わせください。

一般質問

個人質問16名

一般質問とは、議員が「市政が市民のために適切に行われているか」を質すために行うものです。代表質問と個人質問があります。

代表質問は、会派所属議員が会派を代表して質問するもので、3月・9月及び市長の改選後初の定例会で行われます。

個人質問は、各議員個人が質問するものです。

今定例会における個人質問は、「一括質問一括答弁方式」か「一問一答方式」のどちらかを議員が選択をしています。

また、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、質問時間を1人あたり20分の短縮を図りました。



議会の行政監視機能の水準 警戒レベルは？

楚山伸二

質問

議員は、行政の事務を監視チェックするために、市政全般の『関係者』として、あらゆる事業に参加し、質問や発言する『権利と責務』を市民の皆様から与えられている、『負託』されている立場であるということ踏まえ、行政側としては、議員の参加及び発言をどう捉えているのか。

市長

議会の役割の一つは「行政のチェック機能」である。議員が行政事業に積極的に参加することは大切なことであり、議員の活動に対しては引き続き、議会活動の一環として情報提供し協力をしていく。議員の発言は、市民の代弁者としてこれまでと同様に重く受け止めていく。

質問

地方分権一括法が施行されて20年。国と対等・協力の関係にある自治体の首長は強力な権限を持っており、議会は「行政監視機能の一層の強化」を果たしていくこと

が求められている。現在、議会議務局職員は、実態としては、行政からの出向人事となっている。このことは、行政と議会の二元代表制においては、緊張感を欠く原因となることから、よほど慎重に執行行っていた必要がある。二元代表制のもとにおける議会議務局の人事についてどう考えているのか。

総務部長

議会議務局の人事については、議員が言われた議会議務局としての役割があるので、それに対応できるそういった人材を人事の中でやっている。

本会議の映像を配信しています。

本会議の映像をYouTubeでご覧になることができます。下記の二次元コードにアクセスし、YouTubeロゴマークをクリックしてください。



市議会議録検索ページ



YouTube
ロゴマーク



新型コロナウイルスワクチン接種の見込みはどうか

田中寿光

質問

高齢者接種において、集団接種の7月完了に向けての課題と見込みはどうか。

市長

6月最終週までにワクチンを確保する見通しが立ったことから、7月末までに希望する高齢者への接種を終了するようにと国からの強い要請があり、本市としても、できるだけ早く接種を進めるため、ワクチン接種の前倒しの方策を進めている。高齢者の集団接種については、7月末の終了予定の体制を整えることができた。

質問

接種体制の強化に向けて、歯科医師などによる接種協力は要請できるか。

市長

歯科医師がワクチン接種のための筋肉注射を実施することが可能となったので、今後接種を加速させるに当たり、筋肉注射業務を担当する医療従事者の確保がさらに必要となる際には、医師会と連携



痛くないです

し検討していく。

質問

開業医による個別接種の課題と実施に向けた進捗状況はどうか。

市長

ワクチン管理がしやすくなったことで、個別接種についてもその課題を改めて医療機関と共有している。今後市内医療機関による65歳以上の通院患者等への個別接種についても、その意向のある医療機関と連携し、開始に向けた準備を進めていく。



小中学校の再編スケジュールは？

小林一彦

質問

「学校再編計画」を進めていく上で、再編に係る具体的な課題を協議し解決していくために、再編に係る学校が所在する区域ごとに、地元関係者等から成る組織の設置が必要ではないか。

教育長

学校再編計画が策定された後、様々な決定をしなければならぬ事項がある。ご指摘のとおり、それらを検討する組織は、計画を具体的に進めていく上で必要になるものと認識しており、しかるべき時期に設置したい。

質問

統合後の校舎の敷地の位置はどのように決めていくのか。

教育長

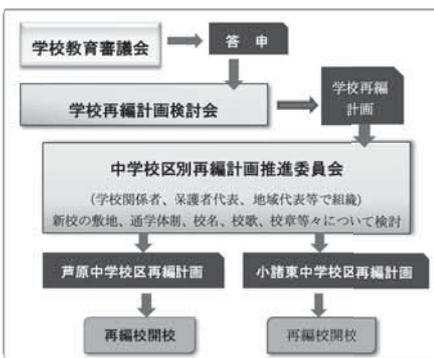
目指すべき学校の姿が固まったところで、それを実現するためによりよい場所を選定していくことになるが、具体的な学校の統合について多くの皆様にご理解をいただいた段階で、初めて校地の選定に移行できるものと考えている。

質問

今後のスケジュールはどうか。

教育長

本年中に教育委員会において学校再編計画(案)を策定し、令和4年1月から2月にかけて、各校区ごとの市民説明会を予定している。併せてパブリックコメントの募集を行う。順調に行けば令和4年3月に学校再編計画を策定することになる。4月から校地の選定を行い、その後、基本計画業務に着手できればと考えている。基本計画と実施計画でおよそ2年間を3年程度と見込んでいる。



中学校区別再編推進委員会の設置イメージ

個人質問



小諸市の明るい超高齢社会の実現をめざす

高橋 充宏

質問

高齢者の健康づくりや介護予防について重点的に取り組んでいることは何か。

市長

高齢者にとって社会参加をすることが大事なポイントになる。地域の新しい取組みのひとつとして、介護予防ささえ愛サポーター研修受講者を中心に「通所型サービスB」を開催する予定である。「通所型サービスB」とは、地域の通いの場へ行くことが困難なフレイル状態にある方を対象に、住まいの地域を問わない定期的な通いの場のことである。

質問

こうした通いの場への参加の働きかけや主催者支援をしている。高齢者に関わる問題解決の対応策は整備されつつあるが、今後は問題を起ささないための予防策も必要ではないか。

保健福祉部長

元気なうちから健康づくりや介護予防に関心を持ってもらえる働



「通所型サービスB」打合せの様子

きかけや小さい頃から福祉に触れ理解を広める教育や啓発をしたい。

質問

誰もが、いつ何が起きるか分からない中、家族や親しい者と好ましくない事態が起きたことを想定し、事前に話し合っておくことが重要と考えるがどうか。

市長

一市民としてもその必要性を感じている。普段から家族や地域とつながっておくことの重要性を認識し、今後の小諸市政に活かしながら小諸市の明るい超高齢社会の実現につなげたい。



小諸市の産業の現状はどうか

丸山 正昭

質問

地域産業の振興をどう図っていくか。

市長

商工業、農業、観光を始めとする地域産業がしっかり定着し、連携しながら活発に事業活動を行うことは地域振興を図る上でも大切であり、より多くの経済の担い手の育成、誘致や事業者支援に取組んでいく必要がある。これまでの取組みとして、創業、起業支援では商工会議所のチャレンジ起業相談室、創業塾を通じて操業を支援し、北国街道沿いの空き店舗への出店等につなげてきた。また、既存店舗、事業所に対しては設備投資や販路拡大、人材確保など事業拡大への支援を行っていき、企業誘致では地域の強みを生かした誘致活動により無添加化粧品メーカーや、ウイスキー蒸留所の立地のほか、市街地への店舗誘致などにつなげてきた。今後エリアのブランド力を加えた地域の強みを生かした取組みをより一層強化し、産業

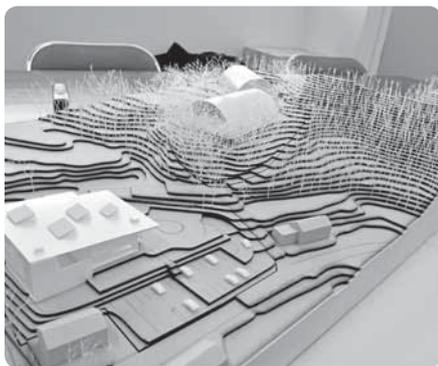
振興を図っていきたい。

質問

企業誘致を図るために提供できる商品としての土地などあるか。

市長

必要な面積と便利な場所を備えた土地が必要であることから、民間用地の活用だけでは企業側の要望に対応できない場合もあり、案件を失う要因にもなる。また、企業からの引き合いには波があるものの、設備投資のタイミングを逃さないという考えも持つ必要がある。このような観点から、一定規模の工業団地の確保に向けての取り組みを進めていく。



小諸蒸留所完成イメージ模型



老朽化が進む下水管&ポストコロナ時代突入 竹内健一

質問

2月の下水道汚水管漏水事故の概要と復旧費用はいくらか。

市長

管路布設替え作業中に水流を変えたため劣化管路に負荷がかかり破損を招いた。

管路破損と道路復旧910万円、個人所有物の補償費300万円、合計1千210万円を見込んでいます。

質問

下水道汚水管のチェック体制は。

市長

農業集落排水を含め市内全域に310kmの汚水管とマンホールポンプ場が140箇所あり、年に1度の頻度で全ての点検を5月より開始している。

質問

ポストコロナ（コロナ禍後）を見据えた市の取組はあるのか。

市長

各種証明書の申請を自宅にてオンラインで可能とするシステムの構築やIT人材育成など、社会変容へ柔軟に対応した持続可能なま

ちづくりを地域・企業と連携を図り進めていく。

質問

佐久広域代表副連合長として広域連携を積極的に進めるべきではないか。

市長

次世代を担う若者たちがこの地域に定着できるように共生社会の形成にこれからも力を注いでいく。

質問

教育行政の取組はどうか。

教育長

ICT環境整備が完了しオンライン学習を推進、児童生徒の心のケアにも関係機関と連携を図る。

ポスト コロナ時代



ヤングケアラー、早期の発見と対応を！ 小林重太郎

質問

教育現場にてヤングケアラーへの認識は進んでいるか。

教育長

全国的に実施された調査を見ても、認知度は低いと感じている。ヤングケアラーへの認識を広めることは、教育現場にとどまらず、社会全体としてこれから取り組んでいかなければならない。

質問

要保護児童対策地域協議会において、「ヤングケアラーと思われる子ども」の実態把握は行なわれているか。

教育長

疑念は認識しているが、ヤングケアラーという視点での実態把握は行っていない。ただ、児童虐待として対応している中には、ヤングケアラーと思われる子どもたちがいることは承知しており、個別に支援を行っている。

質問

早期発見につながる教育、福祉、介護、医療等との連携について、

どのように考えているか。

市長

医療や介護に関わる方々は、その家庭の状況を把握しやすい。早期発見、早期対応のためには社会全体への意識啓発と関係者の連携が重要であると考えている。

質問

相談できる人、相談できる場所としてどのようなところがあるか。

市長

やはり学校の先生が身近であると感じている。ヤングケアラーの課題について意識していただき、必要な場合には行政につないでもらうように今後、働きかける。



家庭におけるヤングケアラーの現状は厳しい

個人質問



SDGsの連携推進・障がい者就労の充実を

柏木今朝男

質問

SDGsを推進していくためには、行政だけではなく市民の皆様や、企業、各種団体、教育機関など、多様な関係者が、持続可能な目標や価値観を共有し、それぞれの資源や知識を生かしながら、連携・協働して取組むことが重要。との観点から、次の提案をしたい。

①「SDGs未来都市」への応募選定は、職員の達成感に通じ、市民にとっても誇れることであり、本市が「選ばれるまち」の一つの判断材料にもなるが、SDGs未来都市への応募の考え方はどうか。

総務部長

本市の取組は、だいぶ熟してきて理解できる提案だが、総合計画の目的を達成することが市行政の本分であり、未来都市への応募は有効性・有用性を研究したい。

質問

②小諸図書館に、子どもSDGsコーナーやSDGsの企画展示、紹介書籍などの特設コーナーを設置し、未来のまちづくりの主体者

である児童生徒や、協働いただく市民に、SDGsに関しての学びの提供は重要と考えるがどうか。

企画課長

非常に有効な手段であり検討したい。積極的なPRに努めたい。

質問

障がい者の就労支援について、多様な働き方ができるよう細やかな情報提供など、相談体制の充実や希望する職種、勤務形態で就労できる支援促進が重要だがどうか。

保健福祉部長

関係機関と連携を密に本人の希望や特性に適した支援計画で一度性でなく継続支援をしていきたい。



SDGs (持続可能な開発目標)



待機児童の解消は、保育士の処遇改善が早道

早川 聖

質問

市立保育園7園は585名の園児の受け入れが可能。しかし4月1日現在450名が在園できるものの42名の潜在的な待機児童が発生し、28名が0歳児に集中している。背景は保育士不足によるが、市の都合で自宅待機となっているのが現状。待機児童を解消するのに必要な保育士数とその対応はなにか。

教育次長

5名ほど増員をすればよい。また、少し余裕を持って保育士を採用できればよいが、全国的な保育士不足の中、取り合いもある。募集しても中々採用までに至らない。

質問

保育士の確保については労働条件や処遇の改善がよくなければ保育士は集まらない。2年前は、多くの保育士は臨時職員。1年前に会計年度職員のフルタイムに移行。今年度は会計年度職員のパートに切り替えたことにより、保育サービスの下で子どもや親たちにしわ寄せが生じている。フルタイム

ムに戻す柔軟な対応や処遇改善が必要ではないのか。

教育長

保育士の役割は、その子の人生に非常に大きな役割を担っている仕事であるので、それなりの待遇でなければならぬが、会計年度職員が一般的となっている流れを変えるのは難しい。

質問

保育士の報酬や労働条件を改善されれば、保育士も増えて、待機児童の解消になるのではないか。

市長

改善に向けて努力しているが、現実的にはなかなか難しい。



もっともっと、いっぱい先生、遊ぼうよ～



交通弱者への支援をどう考えるか

田邊 久夫

質問

増え続ける高齢運転者や、運転できない者に対する支援についてどう考えるか。

市長

高齢者の方の外出機会の創出や交通事故の防止など、高齢化社会の進展に対応した快適に暮らせるまちづくりのためには、公共交通ネットワークの形成が必要である。そこで、平成27年10月に導入した予約制相乗りタクシー・こもろ愛のりくんの運行改善を行い、持続可能な市コミュニティ交通の運行を目指している。

こもろ愛のりくんは、自動車などを運転されない市民の皆様にとって、自宅と目的地を直接結ぶことから、これまでの定時定期路線バスに比べ利便性が大きく向上することが考えられる。また、月曜日から土曜日まで連続して、市内全域に運行することは、全国的に見ても先進的な取組となっている。今後、こもろ愛のりくんは利用者を個別に対応していることから



公共交通ネットワーク再編

乗車率を高め、運行ルートを最適化する等の効率的な運行を行い、利用者のニーズに合わせた対応ができるように改善を行いつつ、事業費を抑制することが求められている。

したがって、利便性と効率性の両立により、こもろ愛のりくんの運行改善を図ることが、高齢者の方の外出支援につながるものと考えている。



コロナ禍の観光産業への支援と連携は万全か

中村 憲次

質問

ひつ迫している観光産業への支援策は十分に対応できているか。また、その内容と成果はどうか。

市長

昨年4月の緊急事態宣言後、宿泊・ホテル事業者には事業継続給付金対応として10万円から100万円、バス・タクシー運送業者には需要喚起支援金、個人30万円、法人50万円、その他観光局への委託事業として「小諸で泊まるっ」キャンペーンの第1弾、2弾等実施し、一定の成果を得たものと感じている。今後も行政の役割を果たしていく考えた。

質問

「こもろ観光局」もDMOとして発足後5年を迎える。観光地域づくりとして一定の役割を担っているが、その具体的活動の成果が見えてこない、との指摘もある。今後の市民・行政・業者・観光局との連携姿勢はどうか。

市長

コロナ禍の長期化によりインバ



観光局の滞在型プログラムのパンフレット

ウンド等の誘客を望めず局の活動は8割程度であったが「推進交付金」が終了となる厳しい中、今後に向けなお一層の観光プロモーション等への積極的活動を期待し、行政と共に、4者連携を強めたい。

質問

アフターコロナに向けて今後の施策が重要であるが、具体策と「オール小諸」の姿勢はどうか。

市長

地域の多様な事業者と協働で、市内宿泊を伴う旅行企画への補助や各事業者団体への支援金給付等実施する。なお観光局、商工会議所との協働と連携が重要である。

個人質問



「健幸都市こもろ」は「食育」の取組から!!

神津眞美子

質問

市長が目指す「健幸都市こもろ」、小諸版ウエルネス・シティ」の基本は健康な体であり、「食育」は重要な要素だが、策定された食育推進計画の目標についての考えは、

市長

地産地消、生産から消費までの循環に関わる、生産者や関係者への感謝の心を育む「つながる」、おいしく楽しく食べるための食育に関する行動「楽しむ」、自分に合った栄養バランスのとれた健康的な食事を「彩る」を基本目標に策定した。

質問

これまでのライフステージごとの評価を見ると、17の指標のうち達成できたのは5項目で、未達成が12項目。そのうちの11項目は悪化している。成果が出ないのは何らかの原因があるわけで、同じことをやっているのは駄目だと考えますが、どうか。

市長

ライフスタイルや価値観が多様



感謝して楽しく食べる

な現在において、多くの方の食行動を改善に向けていくことは難しい部分もあるが、取組や啓発を継続していくことにより、市民の皆様にも食や健康をより大切に考えていただけるよう、関係団体との連携を深め、協働して食育を推進していきたいと考える。

質問

第3次食育推進計画は、これまで10年間の取組以上に全市的な展開を図るべきではないか。

保健福祉部長

担当課と連携をして、ダイナミックな活動になるように今後努力していきたいと考える。



補助事業の見直しは実情に応じて慎重に

掛川剛

質問

最近補助金の削減・廃止による相談がいくつも寄せられている。市民の主体的な活動を支える補助金等についてどのように考えているか。

市長

限られた財源の中で、時代に即した新たなニーズに対して効果的に補助金を支出していくために昨年「負担金、補助及び交付金と扶助費に関する指針」を策定、指針の基準に照らして見直しを進めている。

質問

川辺地区では耕作放棄地が大変増えている状況だ。私は地域の課題として、将来を考え無秩序な太陽光発電よりもワインブドウ団地の造成などを提案してきている。ところが、耕作放棄地再生事業補助金が今年限りで廃止と聞いているが決定事項か。

産業振興部長

国の補助金がなくなり見直しをすることになっている。

質問

農業委員会のホームページにはこの補助金の活用を呼びかけているが農業委員会はどうか考えるか。

農業委員会会長

補助金は非常にありがたい事業で、是非ともこういう有用な補助事業は残してもらいたい。

質問

実情に応じた柔軟な運用が必要だ。効果を検証し、効果のあるものについては継続していくことが必要ではないか。

産業振興部長

振興作物を指定して補助金を出すということも検討している。



耕作放棄地の開墾で周囲の環境も改善



持続可能なコミュニティバス運行のために 山浦利夫

質問

市コミュニティバス運行の変更方針案では「愛のりすみれ号」は全路線休止となるが、「こもろ愛のりくん」で対応できないニーズへの対応は考えているか。

建設水道部長

千曲小学校を中心とした川辺地区内を巡回する千曲小巡回線、小諸駅、小諸高原病院ほか、主要な施設を結ぶ市内巡回線の2路線の試験運行を予定している。

質問

「愛のりすみれ号」は全路線休止となるが、移動手段を持たない人への支援として「こもろ愛のりくん」での対応はどうか。

市長

朝夕の運行拡大などについて、意見募集の際にご意見、ご要望があったことは承知している。今回の運行変更等による利用状況や運行事業者の体制等を踏まえて、適宜見直しを進めたい。

質問

コミュニティバスの持続可能な



こもろ愛のりくん

運行には、経営改善に向けた取組みは欠かせない。取組みについてどのように考えているか。

市長

利便性と効率性の両立が大変重要である。こもろ愛のりくんの運行時間を拡大することで、利用者を増やして、運賃収入の確保をしたい。効率化により、愛のりすみれ号の全路線休止、タクシーによる応援便を休止することにより、事業費の抑制を図る。

さらに本年10月からは、利用促進に向けて、高齢者福祉センターやあぐりの湯など、施設利用とのセット割引などに取組んでいく。



地域おこし協力隊の力を小諸市の起爆剤に！ 福島鶴子

質問

地域おこし協力隊制度は、「参加する隊員」「受け入れる地域」「実施する自治体」の三者に効果が期待できる制度と言われる。小諸市の受けとめはどうか。

市長

隊員の定任率、起業等の高さから「隊員にとつての効果」はあったと思う。小諸市は、特定の地域に入る形でなく、市を地域としている。従って自治体にとつても、定任・定着の状況から、期待した効果を得ていると考えている。

質問

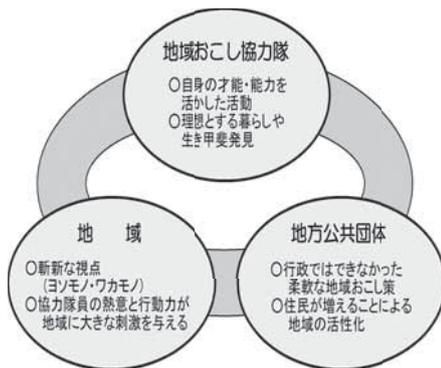
「三方よし」の効果のうち、地域に入り、その地域に刺激を与えられる存在としての効果に、もっと着目すべきではないか。

市長

我々としては、個々の隊員が小諸に来て活動する中で、それぞれが持っている能力を発揮してくれたと受けとめている。

質問

国が想定する「地域の効果」は



地域おこし協力隊導入の「三方よし」効果

質問

地域に入り、斬新な視点で地域を活性化させる大きな力となることだと思う。市民と隊員の間には距離感がある。隊員を紹介するような広報はなされているのか。

企画課長

特別そうした形はとっていないが、隊員の活動や動向についての広報はしている。

質問

現在、産業振興分野のみでの導入だが、今後は他の分野での導入も視野に入れるべきではないか。

市長

議員のご指摘通りと考える。しっかり検討して幅を広げたい。

個人質問



市政における女性参画の推進はどうか 土屋利江

質問

広く女性の声を聞くために令和元年にこもろ女性会議が開催されたが、今後の開催予定はあるのか。

市民生活部長

今年度はコロナウイルスの状況を見ながら開催する方向である。

質問

市政における女性参画の推進で各種審議会等への女性の参画率の目標を45%と掲げているが、現状と課題は何か。

市民生活部長

新規の審議会を加えて37・5%となり多くの審議会は女性の割合が少ない。女性参画率の目標を設定し全体の仕組み作りを検討する。

質問

女性職員の幹部職員の登用について現状と今後の見込みはどうか。

市長

課長職の課長・主幹は23名中女性職員は3名、13%になる。将来の管理職登用が見込まれる課長補佐はおらず、係長職の係長・主査は77名中女性職員は23名である。

現在は、将来の幹部職員登用に向けた育成期間であると認識している。

質問

4月5日に公明党市議団として「コロナ禍における女性の負担軽減」に関する緊急要望をしたところ県下でもいち早く対応していただいた。生理用品・アルファ米・ビスコの配布状況はどうか。

市民生活部長

人権センターと生活就労センターのまいさぼ小諸の2か所で配布している。6月7日現在、人権センターで1件、まいさぼ小諸で19件の利用があった。



生理用品が必要な方はカードを窓口で提示

議会だよりモニターを募集します！



議会では、より分かりやすく、親しまれる議会だより作成のため、議会だよりモニターを募集しています。

◎議会だよりモニター制度とは

- ・年4回発行される議会だよりについて、アンケートで回答していただきます
- ・いただいたアンケートを参考に議会だよりを改善していきます

◎今までのモニター提案で議会だよりに反映したこと

- ・議案の審議結果を関連項目ごとにまとめて掲載する
- ・専門的な用語の解説を入れる
- ・次回定例会の予定に、それぞれの会議の開始時間を追加する。傍聴のお誘いを追加する
- ・各常任委員会での審議結果を掲載する

◎募集人数：20名程度

◎選考方法：広報委員会において書類選考

◎申込期限：令和3年11月30日

◎申込方法：小諸市議会事務局へ電話またはメールでお申込みください

電話：22-1700（内線2403）

メールアドレス：gikai@city.komoro.nagano.jp



ぼいす

第17回

キラキラ★小諸人 風穴の保存・整備に取り組む 「氷風穴の里保存会」の皆さん

今回は、氷区の「氷風穴の里保存会」役員の皆様を訪ね、活動内容等をお伺いしました。

Q1 活動のきっかけは何ですか。

夏の暑い時でも、0度に近い冷たい空気が出ている場所のことを風穴と言います。

風穴を考えるワークシヨップなど、歴史の掘り起こしをしていく中で、天然氷の保存、日本の養蚕業発展を支えてきたことを、広く知ってほしいと、風穴の保存に踏み出すことになりました。

Q2 どんな活動をしてきましたか。

長い間使われず荒れていたので、風穴周辺整備を県や市の補助を活用して進めています。

施設の修繕、駐車場整備等の安全対策や専門家による講演会や学習会の開催、風穴祭りのイベントを行っています。
平成29年には、「全国

風穴サミット」を小諸市で行い、全国にいる風穴仲間たちとの交流が活発にできています。

Q3 活動をしてきて、楽しいことは何ですか。

県内外から訪れた皆さんと交流し、実際に体感していただき、感動してもらおうのが嬉しいです。

風穴がどのようにできたのか、風穴の成り立ち、珍しい植物など、専門家や全国の風穴仲間たちの意見や指導を受けるのも楽しみです。

Q4 今後の活動と皆さんにPRをどうぞ。

私たちは、江戸時代から300年以上使われている風穴を、歴史遺産として後世に残していきたいと考えます。今後は、観光面だけでなく、CO2削減やエコに役立つ整備をしたいと考えています。

昨年からメディアで発信され全国から注目され



4月に開催した植物観察会



雪が降ってもすぐ融ける温風穴

ており、今夏の暑い日に訪れ、皆さんに30度近い温度差を体験してほしいです。詳しくは、ホームページをご覧ください。

編集後記

コロナ禍という未曾有の危機に向き合う今、我々の生活は激変した。一人一人の安心と安全の生活が大きく揺らぐ今、市民が最も期待しているのは、コロナ禍を早く脱し、着実に次の一步を踏み出す、ということである。感染力の強い新型コロナウイルスの変異株が猛威を振るっているが、コロナ禍収束の切り札となるワクチンの接種が、我が小諸市においても加速している。高齢者接種が進み、順次、広く一般市民へと、かつてない規模の接種事業だが、何と

しても円滑に無事故で成功できるように願うばかりだ。コロナ禍により、地域での交流が減ったことで一人暮らしの高齢者らが孤立してしまうなど、特に社会的な立場が弱い人ほどコロナ禍の脅威にさらされている。地域と人、人と人を分断させないという、一人一人に目配りし、地域のつながり・絆を再構築していかなければならない。誰一人置き去りにしない。そんな暖かな小諸市を築いていきたい。
(今)

傍聴席



四ツ谷区
小山 務 さん

6月議会の一般質問の傍聴をしよう所を記してみます。傍聴者が少なく入り口ではコロナ対策で体温測定、手指の消毒、傍聴席の三密対策は万全でした。行政と議員との

やり取りを感じたまま記します。①市民活動の主體的な補助金についての質問の中で、国からの耕作放棄地の再生補助金が無くなり市の補助金だけになったと、答弁があり、耕作放棄地が増えている現在、国はどうして打ち切るのか、と矛盾を感じています。②国民健康保険料についても、国民に大幅な負担をもたらした介護保険の要介護1・2利用停止、75歳以上の窓口負担率2倍化、社会不安の増加。政治が変わらなければと思う。③コロナ感染症対策の質問では、保護隔離、封じ込めが鍵と議員が質したが、市の答弁は積極的なPCR検査は行わない、という事で小諸市はワクチン効果に期待するのか、と感じた。小諸市の財政も厳しいと思うが、不要不急の事業は控えて市民に寄り添った市政にして欲しいと強く思う。これからも機会を見て積極的に傍聴をしたいと思えます。